

## 【入学試験】

2月は中学校と高等学校の入学試験が行われます。2月1日の中学校入試を6年生はそれぞれのこれまでの頑張りを試す機会として、また、中学生になる前の学習に関する一つの節目として、高い意識を持って臨んでくれたと思っています。一貫校なのにどうして入試があるの？と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、私たちは12年間の長い学園生活でそれぞれの学校の役割をきちんと果たしているかを検証する必要があります。一貫というのは、ある考え方を貫くということです。私たちの根っこにあるのは創立者の「建学の心」です。この学園に通う児童・生徒はそれぞれの節目を迎えるときに、学習・生活両面において自身を振り返り、さらなる成長につながる一步を踏み出すようにしなければならないのです。その意識が大切なのです。ときどき、「みんな中学校にいけるのだから試験なんてどうでもいい。名前さえ書けばいい。」というようなことが子どもから聞こえてくることがあります。子どもだけがそんなことを言っているのではないはずですが。こういう意識の低さは、一貫教育の名に甘え、自身を鍛えることを怠ることにつながります。また、そういう考えを持ってしまった子どもは日常の学校生活においても大きなマイナス要因を作り出すことがあります。決して子どもたちに勉強ばかりを強いるものではありません。頑張ろうとする子どもたちが生き生きと生活し、それぞれの成長の確かな一步を踏み出せるように支援したいのです。入試があるからということだけでなく、勉強に対しても、様々な活動に対してもそこにある自分という存在を一步前に進めることができるようにしていきたいです。

## 【桐光小の郵便やさん】

今年も始まりました。2年生による桐光学園小学校の郵便やさんです。郵便番号は3けた、階・学年・組を表す数字です。そして届けたい人の名前、自分の名前と部屋を表す3けたの数字を書いて、あとは裏面にメッセージを書いて備え付けのポストに入れます。その葉書は、2年生の当番の児童が回収し、消印を押してから仕分け作業をして各部屋に届けられることとなります。校長室前にあるポストにも毎日何枚かのはがきが届きます。2年生では、商店街や郵便局などを取り上げながら地域のことが学習のテーマになります。以前は郵便局の見学もさせていただいていたのですが、個人情報管理の上で郵便物が外部の人の目に触れるのは問題があるという理由でそれができなくなってしまったと聞いています。しかし、見学ができなくなったからこそ、自分たちで郵便の仕組みを学び経験してみようということになり、この活動にさらに力を入れることができるようになったと思います。毎年この活動のことをこの紙面で紹介していますが、それだけ素敵な活動であり、大切なことだと思っているからです。もうしばらく続くこの活動ですが、全学年の子どもたちの応援で2年生の活動を支えてあげてほしいと思っています。

## 【聞くこと・話すこと】

授業をしていて気になることの一つに、『聞き方・話し方』があります。

授業に関係のないことをまわりの人と話しているというような子はほとんどいないのですが、どうしても気になるのは、自分勝手な発言です。先生や他の子が話している（意見を述べている）ときに、何か思うことがあるとその途中で話してしまいがちになります。そしてそういう子が複数いると、話は次から次へと遮られ、同時に話している子どもの声がどんどん大きくなっていき、それが学級全体の騒がしい様子となってしまいます。でも、そのような状況を作り出してしまうのは、ほんの数人であることがほとんどなのです。たとえ、授業に関係のある意見であるとしても、意見発表を途中で遮られてしまう子たちは果たしてどのような気持ちになるかは容易に想像できます。改善しなければならない授業中の様子です。

このようなことをしてしまう子は、どのような生活経験を重ねてきているのでしょうか。自分の意見を最後まで聞いてもらう経験が少ないのでしょうか。お互いが意見をしっかり伝え、聞くという経験が少なく育ってきたのでしょうか。原因は分からないのですが、そういう子はいつも誰かを犠牲にして自分の意見を堂々と述べてしまうことになってしまいます。そして、しだいに「あの子はどうもさ」「あの子がいると発表ができない」となってしまい、その子の学級での居心地が悪くなってしまいうることもあるかもしれません。

人の話を最後まで聞いて、そのことに意見があるならば、今度はその人に分かりやすい話し方を心がけることが大切です。

子どもが安心して生活できる環境作りの第一は、話をよく聞くということだと思っています。話を聞いてほしいと思う人がいつも自分を見てくれていると思えるような日々を送ることができると安心できます。忙しくてなかなか時間が取れない大人も多いかもしれませんが、でも、その気になれば誰にでもできることではないでしょうか。食事をしながら、お風呂に一緒に入りながら、一緒に歩いているときでもいいですから、子どもたちの話をじっくり聞いてあげるようにしてみませんか。